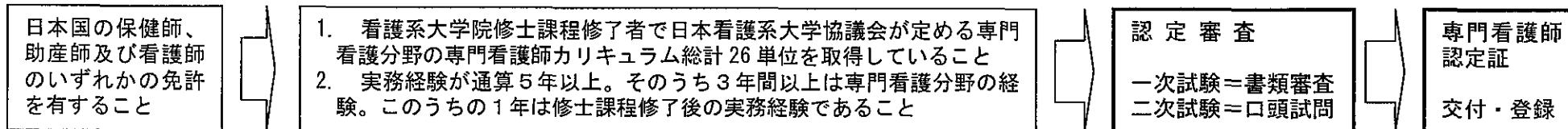


専門看護師 (Certified Nurse Specialist)

専門看護師とは 本会専門看護師認定審査に合格し、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識及び技術を深めた者をいう。専門看護師は、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究の6つの役割を果たすことにより、保健医療福祉や看護学の発展に貢献する。

専門看護分野 ①精神看護 ②がん看護 ③地域看護 ④老人看護 ⑤小児看護 ⑥母性看護 ⑦成人看護（慢性） ⑧クリティカルケア看護

教育および認定のシステム



教育機関及び課程の認定年度 専門看護師教育課程の認定は日本看護系大学協議会が行っている (2005年3月現在認定されている専門看護師教育課程 17 大学院 60 課程)

教育課程のある大学院	教育課程(分野)								今後特定予定の分野	
	精神看護	がん看護	地域看護	老人看護	小児看護	母性看護	成人看護(慢性)	クリティカルケア看護	感染看護	家族看護
北里大学大学院	1998	1998	2004						1998	
聖路加看護大学大学院	1998	1998	1999	2003	1999	1998				
兵庫県立大学大学院	1998	1998	1999	1998	1998	1998	1998			
北海道医療大学大学院	1999		1999	1998		1999	2000			
高知女子大学大学院	1999	1999	2000	1999	1999					1999
東京医科歯科大学大学院			1999	2000		2002		2002		
大阪府立看護大学大学院		2000	2000	2000		2001	2000	2000		
山形大学大学院	2000				2000					
千葉大学大学院		2000		2000	2004	2003				
東海大学大学院				2002				2001		2001
茨城県立医療大学大学院				2002	2002					
神戸市看護大学大学院								2002		
長野県看護大学大学院				2003	2002					
三重大学大学院		2003								
東京女子医科大学大学院	2003	2004	2003	2003				2003		
山梨県立看護大学大学院									2003	
青森県立保健大学大学院						2004				

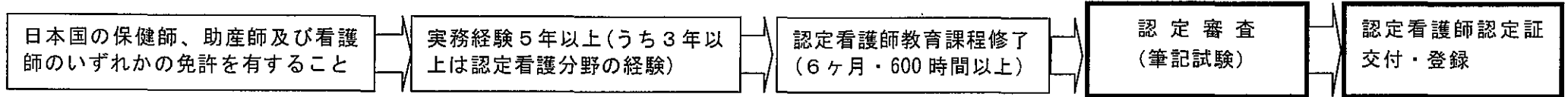
更新制度 専門看護師のレベル保持のため、認定後5年ごとに更新審査を実施 (看護実践の実績、研修実績及び研究業績等)

認定看護師 (Certified Expert Nurse)

認定看護師とは 本会認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる者をいう。認定看護師は、看護現場において実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献する。

- 認定看護分野 ①救急看護 ②創傷・オストミー・失禁(WOC)看護 ③重症集中ケア ④ホスピスケア ⑤がん性疼痛看護
⑥がん化学療法看護 ⑦感染管理 ⑧訪問看護 ⑨糖尿病看護 ⑩不妊看護 ⑪新生児集中ケア ⑫透析看護
⑬手術看護 ⑭乳がん看護 ⑮摂食・嚥下障害看護 ⑯小児救急看護 ⑰認知症高齢者看護

教育および認定のシステム



教育機関および課程の開講年度・定数※カッコ内が定数 (2005年10月現在；認定されている認定看護師教育機関17・認定教育課程35・総定数855名)

教育機関	教育課程 (カッコ内は定数の合計)	救急看護 (70)	WOC看護 (110)	重症集中ケア (50)	ホスピスケア (130)	がん性疼痛看護 (40)	がん化学療法看護 (50)	感染管理 (185)	訪問看護 (15)	糖尿病看護 (30)	不妊看護 (15)	新生児集中ケア (30)	透析看護 (20)	手術看護 (30)	乳がん看護 (20)	摂食・嚥下障害看護 (30)	小児救急看護 (15)	認知症高齢者看護 (15)
日本看護協会看護研修学校		1996(30)	1996(40)	1998(30)	1998(30)			2000(30)		2001(30)							2005(15)	2005(15)
日本看護協会神戸研修センター					2004(30)		2000(30)	2004(30)			2002(15)							
国立看護大学校研修部						2003(20)	2004(20)	2001(20)										
神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター				1998(20)		1998(20)		2006(30)										
神奈川県看護協会 認定看護師教育課程					2004(30)													
広島県看護協会 認定看護師教育課程												2004(30)						
東京女子医科大学看護学部 認定看護師教育センター													2004(20)	2004(30)				
東京都看護協会 認定看護師教育課程								2004(30)										
大阪府看護協会 認定看護師教育課程		2005(30)																
埼玉県立大学 教育研修センター			2005(20)		2005(20)													
青森県立保健大学 健康科学教育センター		2005(10)																
社会保険看護研修センター 認定看護師教育課程			2005(30)															
北海道医療大学 認定看護師研修センター			2005(20)		2005(20)			2005(20)										
愛知県看護協会 認定看護師教育課程																2005(30)		
日本訪問看護振興財団 認定看護師教育課程									2005(15)									
千葉大学看護学部附属 看護実践研究指導センター															2005(20)			
滋賀県立大学人間看護学部地域交流看護実践研究センター								2005(25)										

更新制度 認定看護師のレベル保持のため、認定後5年ごとに更新審査を実施 (看護実践の実績と自己研鑽の実績等)

がん看護専攻教育課程

本専攻分野教育目標

1. がんに関する専門的知識を深め、的確な臨床判断および熟練した高度な技術を用いてがん患者および家族に対して看護を実践することができる。
2. 社会に対し、がんの予防および早期発見のための教育・啓発および相談活動ができる。
3. 医療・看護職者に対して、がん看護に関する教育・相談活動ができる。
4. がん患者を取り巻く医療提供システム内を調整することができる。
5. がん患者の人権を擁護するために適切な倫理的判断を行い、判断に基づいた態度と行動をとることができる。
6. がん看護に関する専門的な知識や技術を深めるための研究を積極的に実施することができる。

科目	内 容	必須単位
専攻分野共通科目	がん看護専門分野を深めるために基盤となる病態生理、看護理論看護援助論などを8単位以上履修する	小計8
1. がん看護に関する病態生理学 2. がん看護に関する理論 3. がん看護に関する看護援助論	病態生理学全般の中から、がん看護に関連した専門的な知識を深める 専門的ながん看護を行っていく上で基盤となる主要理論ならびにその活用について探求する 病名、予後告知・治療の選択、診断、治療に伴う援助法および症状緩和などについてのアセスメント、援助法を探求する	
専攻分野専門科目	広範ながん看護分野の中で、専門性を深めるために下記に示す特定の専門領域の中から4単位以上（1領域以上）を履修する	小計4
1. 化学療法看護 2. 放射線療法看護 3. 幹細胞移植看護 4. がんリハビリテーション看護 5. 疼痛看護 6. 緩和ケア 7. ターミナルケア 8. 予防・早期発見	化学療法の有害事象の予防・早期発見・早期対処を行い、治療の継続および治療中の生活の質を高めるような看護を行う 放射線治療に伴う障害の予防・早期発見・早期対処を行い、治療の継続および治療中の生活の質を高めるような看護を行う 放射線防護に関する教育ならびに相談活動を行う 幹細胞移植の自己決定および移植前後の身体、心理・社会的な苦痛、移植前の処置および移植後の合併症に対する予防、早期発見・早期対処のための援助を行うとともに、心理・社会的苦痛に対する援助を行う がん治療によってもたらされた身体の器質的・機能的変化に対して身体・心理・社会的に働きかけ、自らQOLを高めるよう一貫した援助を行う がん性疼痛を全人的に捉えて疼痛緩和のために薬物療法や代替・相補療法などを用いて援助を行う がんがもたらすあらゆる苦痛症状および苦悩を緩和するために、薬物療法や代替・相補療法などを用いて創意工夫をこらすとともに、心理、社会、霊的な援助を行う 終末期にある患者の苦痛症状を緩和し、その人らしい最期を迎えられるように、身体、心理、社会、霊的に援助する。家族に対して予期的および死別後の悲嘆が円滑に行えるよう援助する。社会に対して死の準備教育を行う がんおよびがん再発の予防・早期発見をめざして、効果的に知識・情報や技術を有効に活用し、自己検診や生活の調整・管理ができるように指導・教育を行う。社会に対してがん予防・早期発見のための啓発を行う	
実習	CNSの役割開発を含む専門分野の実習を6単位以上履修する ・専攻分野専門に関する実習、CNSの役割開発に関する実習 ・レポートもしくは論文の作成	小計6
本専攻分野の必須単位		合計18
CNS共通科目*（8単位以上）を含めた単位数		総計26

*看護教育論、看護管理論、看護理論、看護研究、コンサルテーション論、看護倫理、看護政策論のうち、がん専攻分野のCNSとしての役割を考慮して広範囲に8単位以上を選択する。

精神看護専攻教育課程

本専攻分野教育目標

現在および将来の社会ニーズの変化や精神保健医療福祉の動向を察知しながら、下記のような能力をもつ精神看護のエキスパートとして、社会に提言できる専門家を育成する。

1. Mental Health Evaluationと精神看護問題の適切な査定ができる。
2. 精神保健医療領域で使われるセラピーの中で、看護に適切な技術を駆使できる。
3. 対象者、家族および集団に対し、卓越した看護援助を行うことができる。
4. 精神看護領域でさらに専門化した分野における卓越した知識と技術を得ることができる。
5. 患者の人権を擁護するために、必要な倫理的判断能力を持ち、判断に基づいて行動できる。

科目	内 容	必須単位
専攻分野共通科目	専攻分野専門科目は下記の4つの分野の科目を必ず含んでいること。単位の配分については、各大学で別に定めることもできる。	小計12
1. 制度や体制に関する科目	精神保健医療福祉の制度や体制について理解するため各大学で定める（別に定める）科目から選択する。	2
2. 精神の健康生活状態の評価に関する科目	精神の健康生活の評価ができるようになるために、各大学で定める（別に定める）理論と援助法の科目を組み合わせて履修する。	2
3. 精神領域のセラピーに関する科目	精神領域のセラピーができるために、各大学で定める（別に定める）理論と援助法の科目を組み合わせて履修する。	4
4. 精神看護の援助法に関する科目	精神看護において卓越した働きかけができるために、各大学で定める（別に定める）科目を履修する。	4
専攻分野専門科目	専攻分野専門科目は必須ではないが、より専門化した領域での卓越した知識と技術を修得するために、下記のいずれかの課程を置くことが望ましい。なお、これらの課程の単位を上記の専門共通科目の「精神の健康生活状態の評価に関する科目」「精神領域のセラピーに関する科目」「精神看護の援助法に関する科目」として6単位までは置き換えることができる。	
1. クリティカル精神看護	処遇困難な患者のケアに関する理論と実際	
2. リハビリテーション精神看護	回復期精神看護に関する理論と実際	
3. 薬物依存精神看護	薬物やアルコール依存についての看護の理論と実際	
4. リエゾン精神看護	リエゾン精神看護に関する理論と実際	
5. メンタルヘルス看護	精神の健康の増進と病気の予防に関する理論と実際	
実習	対象者の直接看護ケア、コンサルテーション、コーディネーションおよび精神療法の実践をsupervisionを受けながら実習する。	小計6
本専攻分野の必須単位		合計18
CNS共通科目*（8単位以上）を含めた単位数		総計26

*看護教育論、看護管理論、看護理論、看護研究、コンサルテーション論、看護倫理、看護政策論のうち、精神看護専攻分野のCNSとしての役割を考慮して広範囲に8単位以上を選択する。

創傷・オストミー・失禁（WOC）看護認定看護師 教育基準カリキュラム

【目的】			
1. 人工肛門・人工膀胱の造設や褥創などの創傷および失禁に伴って省実問題に対して、専門的な技術を用いて質の高い看護を提供できる創傷・オストミー・失禁（WOC）認定看護師を育成する。 2. 創傷・オストミー・失禁（WOC）看護領域で、優れた実践力を発揮し、看護職としての役割に誇りと自信を持ち、自己研鑽を目指すことのできる看護師を育成して、創傷・オストミー・失禁（WOC）看護の質の向上を図る。			
【期待される能力】			
1. 人工肛門・人工膀胱（以下、ストーマ）の増設に伴って生じるクライアントの身体的・精神的・社会的問題を的確に把握し、専門技術を用いての質の高い継続的な看護が提供できる。 2. 褥創や瘻孔、ドレーン挿入中の創などの種々の創傷を有している患者に対し、アセスメントを行い専門的なスキンケアと創傷管理ができる。 3. 失禁患者が失禁を自己管理し、心理的・社会的にも安寧な状態で生活できるように援助できる。 4. 患者・家族・重要他者の相談に対し的確に応え、指導できる。 5. ストーマケア・スキンケアの質を高めるために患者・家族・重要他者はじめ医療チームメンバーに対し、教育の原理・原則を応用し教育できる。 6. クライアントの問題解決に向けて、他の保健医療チームメンバーと情報の交換を行い、相談・調整できる。 7. 専門的知識・技術の向上をはかり、ストーマケア・スキンケアの発展に寄与する研究活動ができる。			
	教科目	内容	時間数
共通	必須科目（6科目）	リーダーシップ、文献検索・講読、情報処理、看護倫理、教育・指導、コンサルテーション	小計 90
	選択科目（2科目）	対人関係、看護管理	小計 30
専門基礎科目	1. WOC看護概論	WOC看護概念と歴史及びWOC看護認定看護師の機能と役割について	15
	2. 危機理論	危機理論の概念と援助方法について	15
	3. ストレスコーピング	ストレスコーピング理論の概念と援助方法について	15
	4. リハビリテーション	リハビリテーションの概念と社会福祉制度及び在宅ケアについて	15
	5. 栄養生理学	オストメイト、創傷ケアにおける栄養アセスメント及び栄養管理について	15
	6. アプライアンス基礎	ヒューマンインターフェイス概念とスキン・ストーマ・失禁ケア用品について	15
	小計 90		
専門科目	【ストーマケア論】		
	1. ストーマケア総論	周手術期のストーマケア全般について	30
	2. ストーマケア各論Ⅰ	消化器の解剖生理、疾患治療、術後合併症等およびストーマケアについて	15
	3. ストーマケア各論Ⅱ	泌尿器の解剖生理、疾患治療、術後合併症等およびストーマケアについて	15
	4. ストーマケア各論Ⅲ	小児ストーマ造設疾患と手術、排泄障害等およびストーマケアについて	15
	【創傷ケア論】		
	5. 創傷ケア総論	皮膚機能と創傷の種類及び治癒課程に関連した知識全般について	30
	6. 創傷ケア各論Ⅰ	褥創の発生機序と予防、アセスメント、褥創ケアについて	15
	7. 創傷ケア各論Ⅱ	瘻孔・ドレーンの種類と特徴、アセスメント、ケア等について	15
【失禁ケア論】			
8. 失禁ケア総論	排尿・排便のメカニズムと障害、尿・便失禁の発生機序と治療等について	15	
9. 失禁ケア各論	排尿・排便障害のタイプにあったケアについて	15	
小計 165			
学内演習／実習	1. 臨床実習	・実践能力の育成—ストーマケア・創傷ケア・失禁ケアの実践、時代のニーズに応じたWOC領域のケアの実際 ・患者及びスタッフへの指導能力の育成—指導の実際 ・スタッフからの相談に応じる能力の育成—相談の実際	180
	2. 実習課題	ケーススタディー、インサービス・プレゼンテーション、トピックペーパー	75
小計 255			
総時間数（共通科目・専門基礎・専門科目・学内演習／実習計）			600 時間

「創傷・オストミー・失禁（WOC）看護認定看護師カリキュラム」より要約

都道府県別専門看護師登録者数

平成17年3月1日現在

県名	がん看護	精神看護	地域看護	老人看護	小児看護	母性看護	成人看護 (慢性)	クリティカル ケア	県別合計
北海道									
青森									
岩手									
宮城	1								1
秋田									
山形									
福島									
茨城	1	1							2
栃木									
群馬									
埼玉									
千葉	1		1						2
東京	13	10		1	4				28
神奈川	13	5			4		1		23
山梨									
長野									
新潟									
富山									
石川									
福井		1							1
静岡	3								3
岐阜									
愛知					1				1
三重		1							1
滋賀				1			1		2
京都									
大阪	7	1				1	1	4	14
兵庫	2	3		1	1	2	1		10
奈良									
和歌山	1	1							2
鳥取									
島根				1					1
岡山						1			1
広島			1						1
山口									
徳島									
香川									
愛媛									0
高知	2		1	1	1				5
福岡									
佐賀				1					1
長崎									
熊本		1							1
大分									
宮崎									
鹿児島									
沖縄		1							1
英国					1				1
分野別 合計	44	25	3	6	12	4	4	4	102

都道府県別認定看護師登録者数

平成17年10月1日現在

県名	救急看護	重症集中ケア	WOC看護	ホスピスケア	がん性疼痛看護	がん化学療法看護	感染管理	糖尿病看護	不妊看護	新生児集中ケア	透析看護	手術看護	県別合計
北海道	3	14	14	3	5	7	6	2	1	1		2	58
青森	2	1	2	1		2	1						9
岩手	2	2	1	2		2	2		1	1			13
宮城	1	2	4	3	3	1	6	3	1	1		1	26
秋田	1	1	4	2		1	2						11
山形	1	1	2	1		1							6
福島	2	2	4	2	2		1	1	1		1		16
茨城	5	3	7	9	2		3	1	2		1		33
栃木	2	1	4	2	3		3	2				1	18
群馬	1	8	3	3	1	1	4	1	1	1		3	27
埼玉	3	6	14	6	3	3	7	4		3	2	2	53
千葉	10	6	14	3	4	3	11	6			1		58
東京	33	46	65	31	34	16	57	24	2	2	3	5	318
神奈川	19	90	30	31	84	8	10	8	2	2		1	285
山梨	1	1	2				1						5
長野	5	5	5	5			1	1		2			24
新潟	2	4	2	2	1	1	4						16
富山			2	2									4
石川	1		4		3		1	1					10
福井	1	1	2	2	1	4	3	2	1		2		19
静岡	6	4	14	8	5	1	5	3	2		1	1	50
岐阜	1	3	7	3			4	1					19
愛知	12	9	14	5	6	4	11	2	3	1		1	68
三重	1	4	5	2		1	4	2	1		1	1	22
滋賀	2	2	8	3	1	1	4					1	22
京都	3	3	6	1	2	8	7	4	1	2	1	2	40
大阪	13	15	28	8	6	14	25	2	4	2		3	120
兵庫	7	17	15	8	4	13	14	4	6	1	1	2	92
奈良	1	1	4	1	2		1	1					11
和歌山	4	4	3	1		1	2			1		1	17
鳥取		1						1					2
島根		3	1	4			2		2				12
岡山	2	4	6	3	2	3	3	2	1	1			27
広島	3	4	5	4	2	3	4	3		4			32
山口	1	1	4	2	1	1	2	2		1	1		16
徳島	1	2		4	1	2	2		1				13
香川	2	1	6	4	1		5		1				20
愛媛	3	1	2	1	1	3	8					1	20
高知	3	3	2			1	1		2				12
福岡	3	4	11	1	5	4	7	1	3	2		2	43
佐賀		1		1		1							3
長崎	2	1	4	4			5	1			1		18
熊本	1		2	4	1	1	1						10
大分		1	3	1		2	3	1					11
宮崎	1	1	2			1	1						6
鹿児島			4	1	2	1	1						9
沖縄	1	2	4	2			2	1	1	2			15
米国			1										1
中国			1										1
分野別合計	168	286	347	186	188	116	247	87	40	30	16	30	1741